

令和4年度障害者スポーツ推進プロジェクト

(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)

障がい者スポーツコンソーシアム

“しょうがいスポーツリンケージくまもと”

代表機関 NPO法人A-lifeなんかん

地域の課題に対応した障害者スポーツ環境の整備

◆目的

熊本に障がい者スポーツを含めた生涯にわたって全ての人々がスポーツを行うことができる「場」を地域につくり定着させること

◆障がい者スポーツコンソーシアム

「しょうがいスポーツリンクージくまもと」
構成団体(①②は基幹団体)

長①熊本障がい者スポーツ指導者協議会

副②熊本県総合型地域スポーツクラブ

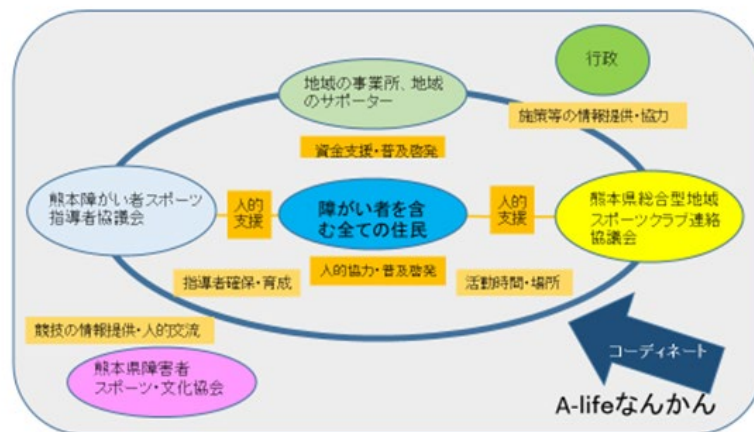
連絡協議会

- ・南関町(社会体育・福祉・学校)
- ・南関町社会福祉協議会
- ・九州ルーテル学院大学(研究者)
- ・久留米大学(アドバイザー)
- ・NPO法人A-lifeなんかん(代表機関)
- ・熊本県障害者スポーツ・文化協会*R5.1再加盟

◇会議 年4回

6月22日、8月24日、12月16日、2月28日

《 しょうがいスポーツリンクージくまもと 》



◆まとめ

- ・事業を推進する中でコンソーシアムの質向上と体制整備を行い、より活動内容が伝わるよう名称を「パラスポーツくまもと」に改称。
- ・「自主運営・受益者負担」を念頭に、体験時には次回依頼時の予算確保を伝え、開催方法や事業としてのアウトソーシングを提案した。
- ・地域での展開には、障がい者だけのスポーツではなく、障がい者も共に行える環境・体制という視点が重要。
- ・パラスポーツ普及の活性化には、事務局機能・コーディネイト機能の充実が不可欠である。

ア 地域における障がい者スポーツの機会創出・普及強化

■①②計画:

- i 障がい者スポーツ指導者協議会とのマッチングモデルの発展形として総合型地域スポーツクラブプログラムとしての定着型モデルの施行。指導ノウハウの蓄積と指導者資格取得を促す。
- ii 新たに県理学療法士会・作業療法士会へ連携に向けたアプローチ

①②→実績:

- i ・NPO法人A-lifeなんかんの総合型地域スポーツクラブの定期活動種目として「ゴールボールサークル」設立 R4年 月から月1・2回で開催中(登録17名うちサポートユーザー7名)
- ・NPO法人A-lifeなんかんの社員が新たに障がい者スポーツ指導員中級資格を取得
- ii ・県理学療法士会に本コンソーシアムの今後の活動への協力を依頼し承諾を得られた。

■④計画:

- i 保育施設(保育所, 幼稚園, こども園)などで障がいのある子ども, 配慮が必要な子どもの運動や遊び(スポーツの前段階など)の状況について, あるいは保育施設のインクルーシブスポーツ状況調査研究を実施し, 地域における障がい者スポーツ推進の基礎資料とする。
- ・研究者:九州ルーテル学院大学教授 永野典詞

■③計画:

- i 車いすユーザーのスポーツ施設等利用における検証会の実施。当事者、有識者等アドバイザーを交えて問題点を可視化し、施設の利用規制緩和へ向けた提言を行う。また、検証においては地域資源(宿泊施設)も対象とし、スポーツ実施可能な施設という視点・滞在型スポーツ合宿等ユニバーサルスポーツツーリズムの可能性の検討も行う。

③→実績:

- i ・対象施設:南関町/B&G海洋センター(体育館)・農村広場(グラウンド・テニスコート)・ホテルセキア(宿泊施設)、和水町/スカイドーム2000(体育館)
- 参加者:車いすユーザー、ホテル関係者、行政(教育・福祉・まちづくり)ほか計12名
- 検証会の実施(計画会7月14日、現地検証会9月27日・10月18日、考察会12月16日)

④→実績:

- i ・保育に関わる(1)(2)の対象に対してアンケート、うち1施設に対しインタビューを実施。
 - (1)保育施設管理者 39名
 - (2)保育者 54名
- 運動が育ちに与える影響は、達成感、自身、言語能力などの向上が見られるなどの回答が寄せられた。
- ・インタビュー:南関こどもの丘保育園園長

イ 障害者以外も巻き込んだ障害者スポーツ種目の体験・理解の推進

■①計画:

障がい者スポーツ指導者協議会等障がい者スポーツ指導者と総合型地域スポーツクラブ連絡協議会のマッチング事業の拡充

i エリアの定期的活動として障がい者スポーツ種目を複数体験するバイキング形式開催の試行

ii 前年までの指導者協議会協力支部・総合型地域スポーツクラブ協カブロック(個別クラブを含む)に継続的実施の促進と新規取り組みクラブ等の発掘

①→実績:

実施クラブ名	区	期日	指導者	内容	数
主に東北エリアを対象とした導入研修会	i	1月22日	障スポ県北・本部	パラスポーツ導入体験会(講習・車いすバスケット体験)	13
(N)A-lifeなんかん/継続	ii	10月30日	障スポ県北・本部	フライングディスク・ポッチャ	122
(N)長洲にこにこクラブ/継続	ii	11月14日	ひとづくり JAPAN・障スポ県北	ガイドランナー体験(長洲中・腹栄中)	115
		12月25日		ポッチャ・風船バレー	47
フネッピーすこやかスポーツクラブ/継続	ii	1月15日 1月22日	—	本事業体験会等に参加(YouTubeライブ配信実践講座他)	1
(N)上天草ドリームズ/新規	ii	1月15日 * 中止	障スポ県西	ポッチャ	—
いだてん玉名/新規	ii	1月20日	ひとづくり JAPAN	ガイドランナー体験会(玉南中)	52
嘉島湧く湧く元気クラブ/新規	ii	1月26日	ソーシャルインクルージョン研究センター	車いすバスケットボール	20

■③計画:

- i しょうがいスポーツシンポジウムの開催(オンライン)
- ii SNSやネットワークを活用した広報活動

③→実績:

i・本コンソーシアムの取り組みの報告や障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツに関係者の意見交換の場を設けインターネットで公開することで、全国に向けて障がい者スポーツの理解を促進。

■期日/令和5年1月29日(日) * 手話通訳あり
■配信会場/オモケンパーク(熊本市中央区上通町)
■テーマ/地域でだれもが共にスポーツを行える環境づくり

■登壇者/●山本行文 日本パラスポーツ学会監事・リンケージくまもと事業アドバイザー

●永野典詞 九州ルーテル学院大学 副学長・障がい者スポーツ指導者

●金川敏洋 (一社)串間スポーツクラブ代表理事・宮崎県総合型地域SC連絡協議会会長

●森山結華 パラスポーツ競技者(ゴールボール)・A-lifeサークル代表

●有働秀樹 熊本県教育庁教育指導局体育保健課スポーツ振興班 指導主事

●行實鉄平【ファシリテーター】
久留米大学スポーツ医科学科准教授

ii・コンソーシアムの活動の様子や参考資料の案内、イベント告知にSNS(Facebook等)を活用した。

→通年にわたって紹介し、前年度よりもチーリ数増加

ウ 現職教員に対する障害者スポーツのノウハウの普及

■① 計画:

i 小中学校特別支援学級授業においてパラリンピック競技種目を試行し、教員に障がい者スポーツのノウハウを普及する。

①⇒実績:

- 実施内容: 南関町を中心とする小中学校特別支援学級等授業においてパラリンピック競技種目などを試行し、教員に障がい者スポーツのノウハウを普及。
- 指導者: 熊本障がい者スポーツ指導者協議会
- 対象校: 8校(南関町2・長洲町3・山鹿市1)

学校名	期日	種目名	参加者
南関第三小学校	10月13日	ボッチャ	16名
腹赤小学校	11月2日	ボッチャ	8名
南関中学校	11月10日	ボッチャ	11名
長洲小学校 * 中止	11月15日	風船バレー	19名
清里小学校	11月18日	ゴールボール	8名
かもと稲田支援学校高等部	2月8日	フットソフトボール	8名



■計画②③:

i ゴールボールで育てる・ゴールボールを育てる町づくり。東京パラリンピックレガシーである公式用具活用。

②③⇒実績:

- i 実施内容: 東京2020パラリンピックで使用されたゴールボール競技のゴールを南関町は移譲されている。また南関町は上記競技の日本代表であり、東京大会日本選手団副団長であった浦田理恵選手の出身地としてこれまでも、主に児童・生徒を中心に普及啓発活動を行ってきた。小中学校特別支援学級に関わる教員を対象として、ゴールボール競技を試行し、教員に障がい者スポーツのノウハウを普及する。同時にIPC公認教材を活用した学校授業への導入を促した。
- ・対象 南関町内の5校(小学校4校・中学校1校)の教員21名
- ・講師 浦田理恵氏(パラリンピアン・ゴールボール)



エ 障害者スポーツのボランティア育成

■①計画:

i 分身ロボットOriHimeを活用した障がい当事者のボランティア機会の創出

①⇒実績:

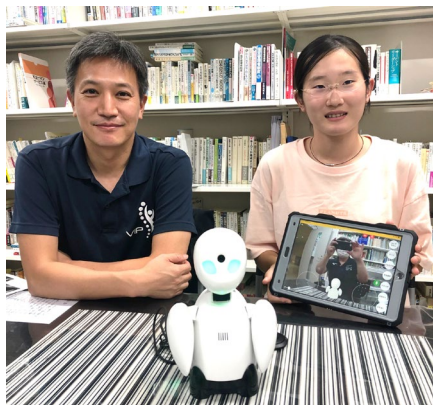
i : 外出の難しい障がい当事者がスポーツを支える立場としてICT機器利用しスポーツイベント等に携わるきっかけをつくるのが目的。遠隔操作で自由自在に動かせる小型分身ロボット「OriHime(オリヒメ)」を用い、インターネット経由で障がい者自らが分身ロボットの手・首の向きを動かし相手と会話しながら、スポーツボランティアを行った。

・開発者 株式会社オリィ研究所(東京都)

■実施日:9月24日(会場:熊本市内)

■イベント「パラスポーツ体験会Day」(主催:熊本県障害者スポーツ・文化協会ほか)のゴールボール体験ブースにて、受付の補助・来場者への案内を久留米大学内から遠隔で行った。

■ボランティア 前田萌伽さん(久留米大学スポーツ医科学科3年)*聴覚/両側性高度感音性難聴



■②計画:

i ガイドランナー啓発イベント・養成講習会の開催
ii ガイドランナー制度紹介パンフレット作成による啓発

②⇒実績:

i : 陸上競技関係者やスポーツ愛好者に向けて、障がい者スポーツやそれをささえるガイドランナーの活動を紹介する啓発を兼ねた講習会を実施することで、ボランティアの育成を行い底辺拡大を図った。

・講師 NPO法人ひとづくりJAPANネットワーク

・実施団体(3団体)

12月4日九州看護福祉大学、12月11日熊本大学

12月22日南関中学校

ii : ガイドランナーの概要を紹介するパンフレットがないということが令和3年度にガイドランナー養成講習会を実施する中で明らかになった。ガイドランナーを確保するための広報としての役割のほか講習会での活用、また支援学校等に配布することでガイドランナーを周知し障がい当事者が競技を始めるきっかけづくりに繋げる。作成に当たっては日本パラ陸連等の協力を仰ぎ、上記iの3回の講習会で内容を検証しながら校正を重ね、最終的に完成版とした。

・配布対象 県内支援学校・福祉事務所・障がい者福祉施設など

・編集者 NPO法人ひとづくりJAPANネットワーク

オ ICT を活用した障害者スポーツの振興

■①計画:

i 障がい者福祉施設等内において、リハビリを目的としてeスポーツを介した実証実験を行い、外出・移動を伴わず障がい当事者に新しい形のスポーツ参加機会を設ける。また、その発展として施設対抗イベントの開催方法を検討実施。

・システム提供:株式会社ハッピーブレイン(熊本県)

①→成果:

i :3施設に対して各8回介入し検証を行った。全員が実施後に不快になる事は無く、活性度が向上する方が多くみられた。

■対象:3施設

- ・陽光学園(南関町 障がい児入居施設)
- ・ジョイナスコーヒー(熊本市 就労支援センター)
- ・菊陽学園(菊陽町 障がい者入居施設)

※今回検証に使用したUDe-スポーツ(ユーディーイスポーツ)とは、「ユニバーサルデザイン・エレクトロニック・スポーツ」の略で、年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが参加でき行うことができるeスポーツ。



■②計画:

i : オンラインコンテンツ作成とYouTubeライブ配信講座の実施。

②→成果:

i : 障がい者に運動・スポーツのその時の状況に応じた最適なコンテンツを提供するために、提供者のコンテンツ作成・配信スキル習得と向上を目指す。今回は配信スキル習得に特化して実施。

・講師 株式会社ディカーナ(熊本県)

■実施日:1月14日 13時~16時

■会場:シアーズホーム夢ホール熊本市民会館大会議室

■参加団体:熊本障がい者スポーツ指導者協議会、フネッピーすこやかスポーツクラブ、NPO法人A-lifeなんかん



事業者：NPO法人A-lifeなんかん

担当者：西田由実

TEL0968-57-9616／FAX0968-57-9617

E-Mail y.nishida@a-life-npo.com

熊本県玉名郡南関町大字関町1283番地

障がい者スポーツコンソーシアム

“しょうがいスポーツリンクージくまもと”

代表機関 NPO法人A-lifeなんかん